

# 高き志【こころざし】

## 緩やかなスタート

ながかつ きゆうこう きかん あけて きよう がつき さいすたーと こうしや こども  
 長かった休 校期間がやっと明けて、いよいよ今日から1学期の再スタートです。校舎に子供たちの  
 げんき こえ がえつ きました。やはり、学校には子供たちの かつぎ ひつよう  
 元気な声が届ってきました。やはり、学校には子供たちの かつぎ ひつよう  
 まだ完全とは言えないものの、戻ってきた「普通の毎日」、一日一日を大切にしながら、子供たちの  
 すこやか なせいちよう むげ しっかり と努力していきたいと思います。

こんかい だいいい ゆるやかな さくねんど がっこうだより ごう おなじ  
 さて、今回の題名「緩やかなスタート」…これは昨年度の学校便り「15号」と同じタイトルです。  
 さくねんど ごう はいつ ばつこう がつき しきようしき なつやすみ あげ はつこう  
 昨年度の15号はいつ発行したかという、2学期の始業式、夏休み明けの発行でした。  
 なか わたし つぎ しりし  
 その中で私は次のように記しています。

わたし じき かならずしよくいん ねがい こども おおきな  
 私はこの時期、必ず職員にお願いすることがあります。それは、子供たちがあまり大きなギャップを感じないよう緩やかなスタートを意識してほしいということです。「緩やかなスタート」、漠然としていますが、まずは教師の心十分にゆとりがあることが一番大切だと考えています。そして、具体的にできることとしては、次のようなことを考えています。……（具体策に続く）

こんかい きゆうこう あげ わたし なつやすみ あげ おなじ はいりよ ひつよう かんがえまし こんかい  
 今回の休 校明けにあたり、私はこの夏休み明けと同じような配慮が必要だと考えました。今回は、夏休み明けとは異なり、ほとんどの子供たちがやる気をもって登校してきてくれるとは思っていません。しかし、必ずしもすべての子供がそうだとは限らないと思うのです。夏休み明けに持つのと同じような気持ちの中で再開を迎えている子供もいるのではないかと思います。そこで、今回の具体的な対策は、再開後3日間は4時間授業（給食有り）での下校、その後の2日間は5時間授業（給食有り）での下校としました。そして、職員にも再開後しばらくは「授業時数を増やすこと」や「学習内容を詰め込むこと」ばかりに意識をもていかにないように話をしました。マスコミで報道される内容は「授業時数の不足」や「学習内容が終わらない可能性」等、それに加え、ICT機器等の環境や準備が整っていない学校ではできないような先進的な取組が紹介され、職員は不安や焦りが募っているように感じたのです。教師の中に「やらなくて」「頑張らなくて」との前のめりの気持ちがある中、スタートダッシュで授業を開始することは決してプラスにはならないと考えたのです。  
 とはいえ、再開後ある程度の期間が順調に進んだ後、「授業時数の確保」や「学習内容を年度内に終わらせること」にしっかりと取り組んでいく必要があることは言うまでもありません。

また、休校中のアンケート結果の中に「夜なかなか眠れない」等、心が不安定になっていることがうかがえる内容がみられます。再開後に心が不安定になってしまうことも十分に考えられます。これらのことにもしっかりとした対応が必要だと考えています。具体的には、各担任に子供たちの様子をいつも以上に丁寧につかむように話しました。何より大切なのは、放課後に余裕のあるここ数日間で、子供たちのつづきや様子、提出物等から、心に不安がある子供を早めに把握し、早めの対応をとることだと考えています。  
 こんな時期だからこそ、私たちは子供たちのちょっとした変化や、ふとした表情から垣間見える不安を見逃さないようにしなければいけません。

高木小学校の休校明けの再スタートは、子供たちと向き合う時間をしっかりと確保した緩やかなスタートにできればと考えています。  
 ご家庭でも、子供たちの様子に少しでも気になることがあれば、すぐに担任までお知らせいただければと思います。